



春日神社(中門) [64]



奈良公園と神鹿 [63]



八部衆(阿修羅) [61] 南円堂 [62]



猿沢池 [60]



回廊の釣燈ろう [66]

春日神社

影響がうかがわれる。参道の石燈籠は1780基、回廊の釣燈籠は1012基。なお、公園の鹿は祭神の「お使い」で、昔から殺生を禁じられてきた。現在は5000頭ほど。また南都の荒僧が朝廷に強行談判するとき持った「春日の神木」はうら山の竹柏である。

参道の石燈ろう [65]



興福寺は藤原氏の氏寺。中世には僧兵をかかえ大和を支配するほどの勢力を見せたが、数度の戦火にさびれてしまった。廣沢池は「魚三分に水七分」といわれ、五重塔は高さ50m、寺の仏像は博物館にある。*奈良七重七堂伽藍八重桜、芭蕉

興福寺



興福寺五重塔 [59]



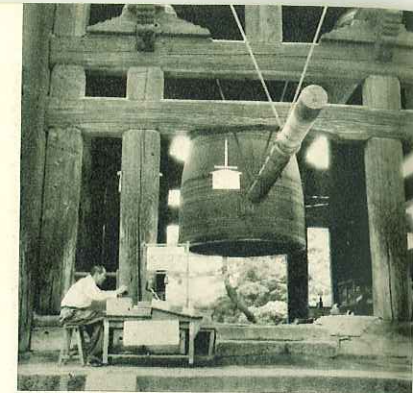


東大寺

大仏(本尊盧舍那佛) [77]

東大寺の造営は仏教を指導原理とした当時の政治権力を象徴している。当初の大仏殿は今の三倍の規模をもち、高塔がそびえていた。その後度々焼かれて当時のものとしては台座や蓮弁などにすぎないが、巨大な大仏様である。

蓮弁の毛彫 [76]



大鐘 [74] 大仏のすす払い [75]



八角燈ろう [71]

こま犬 [70]



左[73] 南大門の仁王 右[72]



空から見た大仏殿と南大門 [69]
天竺様の南大門 [68]



巨大な大仏殿(東大寺金堂) [67]

